

2003.5.13 現代日本論演習 I (田中重人)

第5回「クロス表分析の基礎」

【キーワード】

行 (row) 列 (column) セル (cell)

周辺度数 (marginal frequency)

行% (row percent) 列% (column percent)

【度数分布表の比較】

- データエディタのメニューで
「データ」→「ファイルの分割」
→「グループの比較」
- 度数分布表を出力

- 「データ」→「ファイルの分割」
→「すべてのケースを分析」
でもとにもどしておく

【クロス表の基本型】

質的変数（名義尺度）同士の関連
についての基本的な分析法

		β			
α		1	2	3	合計
行	1	a	b	c	a+b+c
	2	d	e	f	d+e+f
	3	g	h	i	g+h+i
合計		a+d+g	b+e+h	c+f+i	N
		列			周辺度数

【Crosstabs コマンド】

性別 × 「性別による不公平」
のクロス表を書いてみよう

「分析」 → 「記述統計」 → 「クロス集計表」

【行%と列%】

「クロス集計表」メニューで「セル」にパーセンテージ (行・列) を追加

- ★ 行%, 列%のつかいわけは
説明→被説明の関係に対応
行→列の説明をすることが多い
- ★ 周辺度数の%とも比較する

【グラフを書いてみる】

★ クロス表は積み上げ棒グラフ
で表現することが多い

SPSS ではうまくかけない。コピーして
Excel に貼付けてグラフを書くのがよい

★ 度数にも注意

【課題】

性別 × 適当な変数でクロス表作成、
グラフも書いて印刷して提出